



MIRARTH HOLDINGS

MIRARTH Energy Solutions

CORPORATE PROFILE

MIRARTH

Our Purpose 存在意義

サステナブルな環境をデザインする力で、
人と地球の未来を幸せにする。

Our Values 価値観

情熱・感動

環境創造に情熱を注ぎ、人々と感動を分かちあう。

持続可能

人、自然、社会の共存を目指し、サステナブルな世界をつくる。

価値創出

スピード感を持って変革を続け、新しい価値を創出する。

多様性・共創

一人ひとりのアイデアを大切に、地域社会との共創を進める。

誠実・信頼

誠実な行動で、人と社会の安全・安心を約束する。

Brand Story ブランドストーリー

「幸せを考える。幸せをつくる。」

私たちはこの理念を掲げ、人と暮らしを見つめて、

住まいを、そして街をつくってきました。

しかし、ライフスタイルは大きく変わり、

情報のデジタル化、インフラの変化も急速に進んでいます。

少子高齢化・地方の過疎化など、さまざまな課題も抱えるようになっていきます。

「こうした時代に、どう明日の幸せをつくっていくべきか」

私たちは真剣に考えてきました。

挑戦は、もう始まっています。

不動産、エネルギー、金融などの事業を融合するとともに、

地域社会と共創し、未来の街づくりに取り組みます。

さらに、グローバル展開を進めていきます。

新たな時代への挑戦は、サステナブルな環境をデザインする力で、

「人と地球の未来を幸せにする企業」へと進化していく、私たちの決意です。

MIRARTH/ミラース。

Mirai(未来)とEarth(地球)を組み合わせで生まれた社名には、

私たちが目指す無限のフィールドが広がっています。

TOP MESSAGE [ご挨拶]

まわりの人々をしあわせにしたい。
子供のような無邪気な志かもしれませんが、
私がずっと思っていることです。

まわりの人々、それは、どんな人でしょうか。
家族であったり、友達であったり、会
社の仲間であったり、世の中でまだ見ぬ、
地球の裏側にいる人かもしれません。
沢山のまわりの人々がいらっしやいます。

どうやってまわりの人々をしあわせにするのでしょうか。
個人でひとり一人が行っていくものもあれば、社会の仕組み、
事業を通じて行っていくものと色々あると思います。

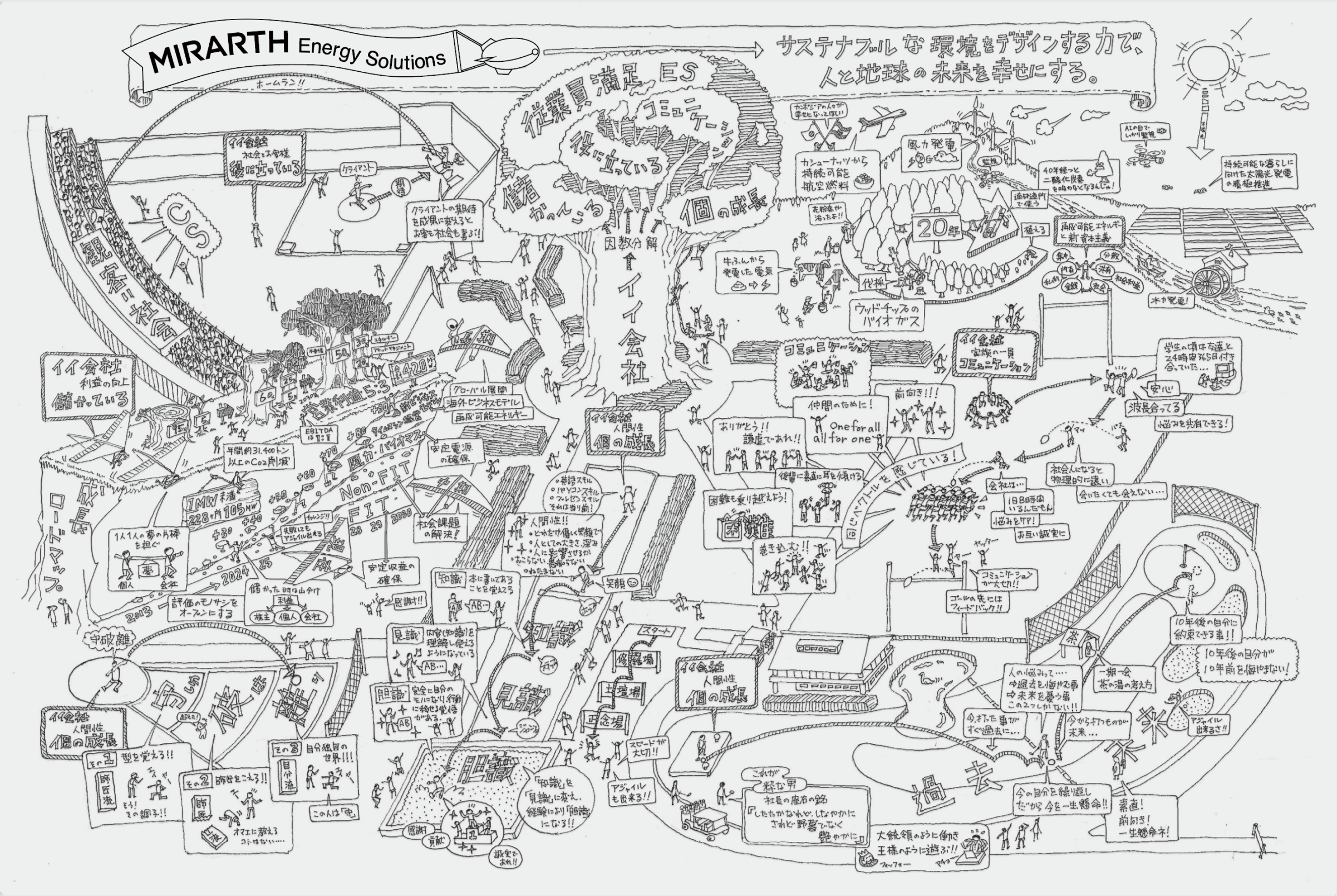
MIRARTHエナジーソリューションズという会社は、
「自然の恵みに感謝し知恵とテクノロジーで
多様性のある持続可能な未来に貢献する」という
経営理念を掲げて事業を行っている会社です。
しあわせにするまわりの人をできるだけ多くしていくために、
会社で行う事業もどんどん大きくしていきたいと思います。
大きくなれば、それだけしあわせな人が増えるというような
流れができればいいなと思っています。

その結果、まわりの人たちが、私たちが行ったことで、
しあわせに、笑顔になれること、そのことを望んでいます。
でも、そのしあわせになった人たちがそのしあわせが
どこから来たかすら知らなくてもいい、
そんな仕事を日々、素直で、前向きに、
一生懸命に未来の地球のために全力で
頑張っ参りたいと思っております。



代表取締役社長

谷本 将太郎



CORPORATE PHILOSOPHY

自然の恵みに感謝し知恵とテクノロジーで
多様性のある持続可能な未来に貢献します

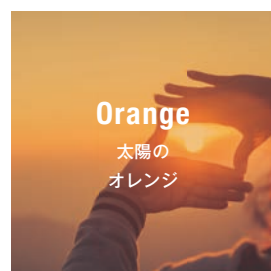
VISION

再生可能エネルギーで
カーボンニュートラルな世界を創る

温室効果ガスの排出量は増加しており、大量の二酸化炭素が排出されることによる地球温暖化は、
解決しなくてはならない重要な問題です。二酸化炭素排出の大きな要因となっているのが、
火力発電による石油や石炭、天然ガスなど化石燃料の燃焼であり、
化石燃料エネルギーからカーボンニュートラルなエネルギーへの転換と推進が求められています。
我が国のインフラを維持・発展させるために欠かせないエネルギーである電力は、
そのほとんどを輸入の化石燃料に依存しておりますが、
エネルギー自給率を上げ、安全かつ持続的に自給できるエネルギーとして、
当社は再生可能エネルギーの普及を目指しております。

行動指針 「感謝」「貢献」「誠実」「笑顔」「素直」「前向き」「一生懸命」「スピード」

THEME COLORS MIRARTHエナジーソリューションズのテーマカラー



Orange
太陽の
オレンジ



Blue
青空とグループ会社の
ブルー



Green
植物・自然の
グリーン



Brown
大地と土の
ブラウン

MIRARTHホールディングスグループの エネルギー事業を担う MIRARTH Energy Solutions

CO₂排出量の削減に貢献する再生可能エネルギーを活用した発電施設の開発や運営、売買を展開。太陽光マンションの供給のほか、FIT制度を活用したメガソーラー発電所や、風力、バイオマス発電所も開発。2022年にはタカラレーベン・インフラ投資法人へのTOBを実施し、パートナー企業と共同で保有することで、売電収入によるストック中心の収益構造へ転換。新たな事業の柱として積極的に拡大してまいります。

MIRARTH Energy Solutions の事業内容

太陽光発電事業	発電所開発事業
O&M事業	その他エネルギー事業





SOLAR POWER GENERATION 太陽光発電事業

太陽の恵みを社会の恵みに

太陽光発電の開発・運営を一貫して手がけています

MIRARTHエナジーソリューションズは、創業以来太陽光発電事業に取り組んでいます。

太陽光から発電した電気はFIT(固定価格買取制度)やFIP(フィードインプレミアム制度)

を通じて市場に供給するとともに、PPA(電力購入契約)に基づいて需要家様にお届けいたします。

【PPAの取り組み】再生可能エネルギーでカーボンニュートラルな世界を目指しています

PPA(Power Purchase Agreement)とは、需要家様の敷地内外の屋根や遊休地に太陽光発電設備を設置し、発電された電気を使用した分だけ購入していただく仕組みです。需要家様と当社で電力購入契約を行い、再生可能エネルギー由来の電気を直接お届けします。

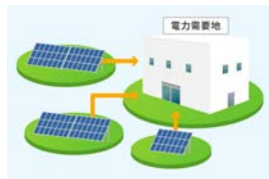
オンサイトPPA

需要家様の敷地内に太陽光発電設備を設置し、発電された電気を需要家様にご利用いただくサービスとなります。



オフサイトPPA

需要家様の敷地外に太陽光発電設備を設置します。発電された電力は、一般の送配電網を通じて送ることで複数の施設への送電を可能とします。



地域創成

災害時における電力の供給協定の締結(北海道厚岸町)

2022年4月に巨大地震などの災害時における停電や復旧への対応をかねてより検討していた北海道厚岸町と「災害時における電力の供給等に関する協定」を締結しました。

○平時における電力供給では、厚岸町から公共施設の無償提供を受け太陽光発電設備の設置を行い、有償で電力供給を行います。

本発電設備の設置期間は、設置した日から原則20年間です。

○災害発生時には、そこから無償で電力供給を行います。

本取り組みにより災害時の生活の早期安定化に務めるとともに、地域の電力の安定供給、レジリエンス向上に取り組んでいます。



LAND DEVELOPMENT 発電所用地の開発

持続可能な再生可能エネルギーを生み出すため

幅広い事業用地を求めています

MIRARTHエナジーソリューションズは、

再生可能エネルギーの開発を推進していくなかで

太陽光発電所用地に加え系統用蓄電所用地など幅広い事業用地を募集しています。

また稼働中の太陽光発電所の買い取りにもお応えしております。

太陽光発電所及び系統用蓄電所の用地を募集

土地面積：

○太陽光発電所：3,000㎡(約1,000坪)～20,000㎡(約6,000坪)

○系統用蓄電所：600㎡(約180坪)以上(※ただし民家から距離を要す)

※諸条件ございますが、農地・調整区域のご相談も承ります。

募集エリア・土地用要件などの詳細は、

QRコードから当社HPをご確認ください。



セカンダリ案件募集

権利売却・事業譲渡などで売却が必要になった200kw以上2,000kw

未満の太陽光発電所を買い取らせていただきます。買取後の発電所は

当社が責任をもって管理・運用させていただきます。

買取要件などの詳細は、

QRコードから当社HPをご確認ください。





OPERATION & MAINTENANCE O&M事業

ずっと、いつまでも、
安定的な電力を供給するために

太陽光発電においては、その継続的かつ安定的な電力供給のために、
発電設備のメンテナンスはもとより、発電所全体における適切な管理が欠かせません。
当社では、専門スタッフによるトータルな保守点検業務を行っています。

O&M(保守・管理)

MIRARTHエナジーソリューションズのO&M事業は、全国200カ所以上の太陽光発電所を保守・運転管理しております。20年以上の長期間、電力の安定供給を目的に、発電所の定期点検、除草、除雪、修繕、パネル洗浄等の保全業務を実施。また地域との関係性を高める活動にも取り組んでいます。



太陽光発電所の仕組み

太陽光による発電システムは、太陽電池モジュールを組み合わせて設置した太陽光パネル、そしてこのパネルから出力される電力を交流の電気に変換するインバータを含むパワーコンディショナで構成されています。



OTHER ENERGY BUSINESS その他のエネルギー事業

未来の環境に貢献する、
新しいエネルギーの開発にも取り組んでいます

MIRARTHエナジーソリューションズは、再生可能エネルギーでサステナブルな社会と環境を創り出す企業として、
バイオマス燃料をはじめとする、地球に優しい循環型エネルギーの開発を促進。
多様性のある持続可能な未来を描く、低炭素社会の実現に貢献していきます。

バイオマスエネルギー

「富士山朝霧バイオマス発電所」(静岡県富士宮市)では牛ふんを活用することで、地域課題解決及びエネルギーの地産地消や地域資源を活かした地域循環共生圏の構築を目指します。また、2024年2月にはMIRARTHアグリテック(カンボジア現地法人)を設立し、カンボジア産カシューナッツ殻を活用したバイオマス燃料化事業に参入しました。新たなエネルギー開発や現地雇用の拡大など同国の経済発展に資する取り組みです。



SUSTAINABILITY [サステナビリティ]

サステナビリティ基本方針

当社グループは、「サステナブルな環境をデザインする力で、人と地球の未来を幸せにする。」をOur Purpose（存在意義）として掲げ、住宅の供給や再生可能エネルギーの開発など、事業を通じたサステナビリティ活動に取り組むことで社会課題の解決とSDGs（持続可能な開発目標）達成に貢献し、さまざまなステークホルダーや社会からの信頼を得て、持続的な発展を目指しています。



	サステナビリティ重要テーマ	関連するSDGs	マテリアリティ
E 環境	脱炭素社会の実現 再生可能エネルギーの安定供給に取り組むとともに、省エネルギー化を取り入れた環境負荷の少ない開発を目指し、気候変動問題の緩和に取り組めます。	<div>6 安全な水とトイレを世界中に</div> <div>7 再生可能エネルギー</div> <div>12 つくばない消費</div> <div>13 気候変動に具体的な対策を</div> <div>15 陸の豊かさを保ち増やす</div>	<ul style="list-style-type: none">気候変動・脱炭素化への対応再生可能エネルギーの安定供給と利用促進
S 社会	サステナブルな街づくり 地域社会の発展と人々の暮らしの豊かさの向上を図り、社会課題やニーズの変化に対応した商品・サービスの提供を通じて持続可能な未来の	<div>4 質の高い教育をみんなに</div> <div>8 働きがい、経済成長を</div> <div>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</div> <div>11 住み続けられるまちづくりを</div> <div>17 持続可能なパートナーシップを</div>	<ul style="list-style-type: none">地域社会の持続的な成長の実現少子高齢化、労働人口減少への対応
	Well-beingの向上 心身の健康と安全を守るとともに、多様な人材が活躍できる職場風土を醸成し、ステークホルダーとの対話を通じて共創関係を築きます。	<div>3 すべての人に健康と福祉を</div> <div>4 質の高い教育をみんなに</div> <div>5 ジェンダー平等を実現しよう</div> <div>8 働きがい、経済成長を</div> <div>10 人や国の不平等をなくそう</div> <div>12 つくばない消費</div>	<ul style="list-style-type: none">従業員の健康と安全の確保ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン（DE&I）の推進人権の尊重、サプライチェーンへの対応
G ガバナンス	ガバナンスの強化 健全な企業活動を推進し、意思決定の透明性を確保することで企業の社会的責任を果たし、企業価値の持続的な向上を目指します。	<div>16 平和と公正な社会を築こう</div>	<ul style="list-style-type: none">コーポレート・ガバナンスの強化リスクマネジメントの強化企業倫理、コンプライアンスの徹底

国連グローバル・コンパクトへの署名

当社グループは、2020年に国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト」に署名し、参加企業として登録されました。今後も「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野からなる国連グローバル・コンパクト10原則の実現を目指す取り組みを継続していきます。

※国連グローバル・コンパクト：1999年の世界経済フォーラム（ダボス会議）でコフィー・アナン国連事務総長（当時）が提唱し、2000年に発足。

WE SUPPORT



国連グローバル・コンパクトの10原則					
人権	原則1	人権擁護の支持と尊重	環境	原則7	環境問題の予防的アプローチ
	原則2	人権侵害への非加担		原則8	環境に対する責任のイニシアティブ
労働	原則3	結社の自由と団体交渉権の承認	腐敗防止	原則9	環境にやさしい技術の開発と普及
	原則4	強制労働の排除		原則10	強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取組み
	原則5	児童労働の実効的な廃止			
	原則6	雇用と職業の差別撤廃			

MIRARTHエナジーソリューションズのSDGsへの取り組み

クリーンなエネルギーの力で持続可能な社会へ

私たちMIRARTHエナジーソリューションズは、これまで日本国内において200ヶ所以上におよぶ太陽光発電所を建設。温室効果ガスであるCO2が排出されない、地球に優しい太陽光エネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの活用を通じて、カーボンニュートラルな世界を目指しています。またこれに合わせて継続的な地域の開発、地域社会の活性化などにも取り組むことで、未来に向けた持続可能な社会の実現に貢献しています。

環境や雇用に貢献するカンボジアでのバイオマス燃料化事業

世界シェアの2割を占める有数のカシューナッツ原産国であるカンボジアにおいて、その殻を活用したバイオマス燃料の開発と供給にも取り組んでいます。自然由来の原料による再生エネルギーで脱炭素社会の実現に貢献するとともに、カンボジアにおける地域産業の支援、これに伴う契約農家の安定的収入や住民の雇用確保など、総合的に持続可能な社会の発展に寄与しています。



オフィス改革の推進

当社ではオフィスコンセプトとしてABW(Activity Based Working)の考え方を取り入れています。ただ単にフリーアドレスを採用するのではなく、部署や職位の壁を超えた社員同士のコミュニケーション活性化、生産性・効率性を最大化できる環境での就業により、社員一人一人が最適な働き方を選択できる環境を作っています。また、IT環境の整備などによりペーパーレス化を促進させ、省資源化や省スペース化を実現しております。



女性が活躍する職場を目指して

2023年10月に、厚生労働大臣が認定する女性活躍促進の取り組みに優良な企業の基準となる「えるぼし認定」(3つ星)を取得、2023年11月には東京都が認定する「TOKYOパパ育児促進企業」(ゴールド)にも登録されました。さらに、育児を行う従業員が仕事と子育てを両立できるよう、子ども家庭庁が実施するベビーシッター派遣事業の助成を受け、「ベビーシッター利用割引制度」も導入しております。これらをはじめとする活動により、すべての従業員が自身に合った働き方を選択できる環境の実現を目指しています。



SDGs寄付型私募債

事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するために「SDGs寄付型私募債」発行による資金調達を実施しました。「SDGs寄付型私募債」は、銀行等の金融機関を引受先として、一定以上の財務基準を満たしており、国連が提唱する持続可能な開発目標SDGsの趣旨に賛同し、寄付・寄贈を通じてSDGs達成へ貢献したい優良企業が発行します。この私募債は発行手数料の一部を、SDGsの取り組みを行う諸団体へ寄付するものとなります。本資金調達によって得た資金は、SDGs達成に結びつく今後の事業資金として活用します。

HISTORY

〔沿革〕

- 2016年 3月 東京都千代田区内神田にくにうみエナジー株式会社設立(資本金500万円)
- 2017年12月 資本金を1億6500万円に増資
- 2018年 6月 第1号の太陽光発電所として三重県南牟婁郡紀宝町発電所運転開始(550kW)
- 2019年 7月 資本金を6億5500万円に増資
- 2020年 1月 ACAクリーンエナジー株式会社へ商号変更 本店を東京都中央区晴海へ移転
- 11月 太陽光発電所が累計100か所(45.6MW)到達
- 2021年 4月 株式会社タカラレーベンが当社株式を取得 同社の100%子会社となる
- 6月 株式会社レーベנקリーンエナジーへ商号変更
- 7月 北海道札幌市東区に北海道事業所開設
- 2022年 5月 太陽光発電所が累計200か所(91.9MW)到達
- 10月 親会社の株式会社タカラレーベンがMIRARTHホールディングス株式会社へ商号変更及び持株会社体制へ移行
- 10月 自治体とのオンサイトPPA事業開始
- 11月 本店を東京都新宿区揚場町へ移転
- 2023年 4月 MIRARTHホールディングスのエネルギー部門と業務統合
- 6月 北海道事業所を株式会社レーベンコミュニティへ事業承継
- 10月 MIRARTHグリーンテックへ出資 子会社化
- 11月 カンボジアにMIRARTHアグリテックを設立
- 12月 第1号のオフサイトPPA締結
- 2024年 3月 資本金を21億5,500万円に増資
- 4月 MIRARTHエナジーソリューションズ株式会社へ商号変更
- 7月 カンボジア現地におけるカシューナッツ加工の事業規模を拡大
- 10月 合同会社延岡バイオマス発電所へ出資 商号を「MIRARTH延岡バイオマス合同会社」へ変更
- 11月 オランダのNuts2 B.V.社へカシューナッツの出荷を開始

GROUP COMPANIES

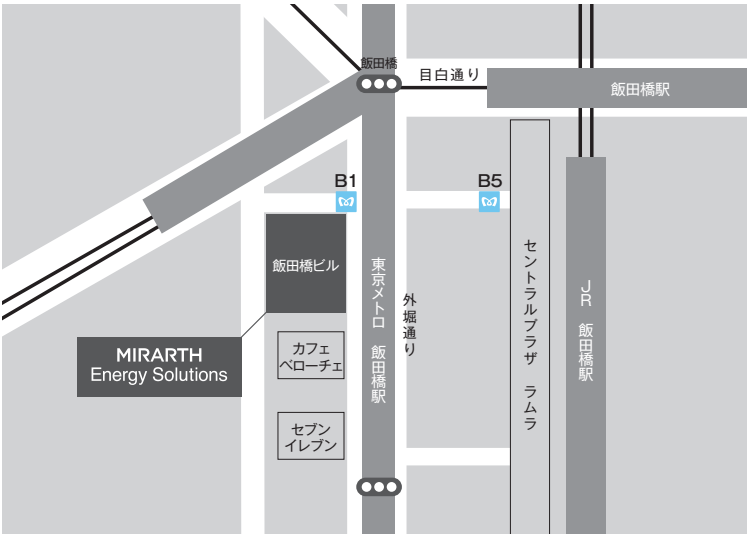
〔グループ企業〕

MIRARTHホールディングス株式会社 グループ会社の経営管理等	
株式会社タカラレーベン	株式会社レーベントラスト
新築分譲マンションの企画・開発並びに販売、 不動産流動化事業、賃貸事業、流通事業	賃貸管理事業、賃貸事業
株式会社レーベンコミュニティ	タカラレーベンタイランド株式会社
不動産管理事業、賃貸事業、保険代理業	不動産事業に対する投資業
レーベンコミュニティベトナム有限会社	MIRARTHグリーンテック株式会社
マンション管理業、不動産コンサルティング業、不動産仲介業、 メンテナンス業、設備管理業、清掃業	再生可能エネルギー事業
株式会社レーベンホームビルド	MIRARTH Agri Tech Co., Ltd.
新築戸建分譲事業、建設業	カシューナッツの栽培、バイオマス燃料の研究・開発・製造・販売
株式会社タカラレーベンリアルネット	MIRARTHアセットマネジメント株式会社
不動産流通事業、受託販売事業	投資運用業、第二種金融商品取引業、投資助言・代理業
株式会社レーベンゼストック	MIRARTH不動産投資顧問株式会社
不動産買取再販業、賃貸事業	投資運用業

COMPANY PROFILE

〔会社概要〕

社 名	MIRARTHエナジーソリューションズ株式会社 MIRARTH Energy Solutions Inc.
代 表 者	代表取締役 谷口 健太郎
設 立	2016年3月29日
資 本 金	2,155百万円
事 業 内 容	再生可能エネルギー事業
所 在 地	〒162-0824東京都新宿区揚場町1番18号飯田橋ビル5階/TEL:03-3233-2551



関 連 会 社	MIRARTHグリーンテック株式会社 MIRARTH Green Tech Inc.
	〒162-0824東京都新宿区揚場町1番18号飯田橋ビル5階/TEL:03-6868-3771

MIRARTHアグリテック株式会社 MIRARTH Agri Tech Co., Ltd.

No.1159, National Road No.2, Prek Tanuo Village, Sangkat Chak Angre Leu, Khan Mean Chey, Phnom Penh, Kingdom of Cambodia.

MIRARTH Energy Solutions



